

## 「ハモ」は何処へ？

香川県観音寺市室本の小型定置網（柵網）で平成 27 年 6 月上旬に大人の身長より大きなハモが獲れ、伊吹漁協の魚市場に水槽で持っているが、水産試験場で要らないかという相談を受けました。当场では 6 月から 7 月にかけて、小学 5 年生が毎年 4,000 人程度見学に訪れるので、大きなハモを小学生が見たら喜ぶだろうなあと思ったのですが・・・ハモは、魚類やイカ、タコ、エビ、カニなどを大きな口で食べるため、飼育すると他の魚介類がいなくなるので試験場での飼育は止めることにしました。年齢を調べるため耳石を取り出そうかとも考えていましたが、この大きなハモは何処から来たのだろうかという話になり、それでは標識をつけてどこに行くのか調べましようということになりました。



6 月 18 日（木）に黄色のダートタグ（タグには「カガワ TEL087-843-6511 No〇〇〇〇」と明記）をハモに 5 本装着し、観音寺港で放流しました。再捕された方は情報提供よろしくお願ひします。

ハモの大きさですが、全長は約 180cm、体重は 14 キロでした。

放流後にハモに詳しい人に聞いたところ、これぐらいの大きさになるには 15 年程度かかるそうで、また、全長が 120cm を超えているのであれば、「スズハモ」の可能性があるとされました。ハモとスズハモの同定のポイントは肛門前側線孔数なのですが、今回は測定しておらず、どちらかは不明です。

### 【参考文献】

波戸岡清峰：ハモ科。「日本産魚類検索 第三版（中坊徹次編）」。2013：東海大学出版会，288.

野中英夫：ハモ属の資源生物学的研究-II，ハモ *Muraenesox cinereus* の食性。1955：日水誌 21，73－81.

（文責 主任研究員 山本昌幸）